

# LGT上場プライベート・ エクイティ戦略ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：L上場PE戦

2024年8月27日から2025年8月25日まで

第 **3** 期 決算日：2025年8月25日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、未上場企業の株式(プライベート・エクイティ)等に投資を行う運用会社の上場株式等に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	20,226円
純資産総額(期末)	6,844百万円
騰落率(当期)	+24.2%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年8月27日から2025年8月25日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	16,286円
期末	20,226円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+24.2% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 基準価額の主な変動要因(2024年8月27日から2025年8月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の未上場企業の株式(PE:プライベート・エクイティ)等へ投資を行う運用会社の株式および投資信託証券等に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指しました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

### 上昇要因

- 最終投資先企業の好調な業績動向等により、ポートフォリオ組み入れの「上場運用会社」と「上場投資会社」の株価が大きく上昇したこと
- 業界全体における堅調な運用資産残高の成長が見られたこと

### 下落要因

- トランプ大統領による関税導入の懸念が市場センチメント(心理)を悪化させたこと

## 1万口当たりの費用明細(2024年8月27日から2025年8月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	355円	1.953%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は18,191円です。
(投信会社)	(220)	(1.207)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(130)	(0.713)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.033)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	27	0.151	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(22)	(0.121)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(5)	(0.029)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	6	0.030	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(5)	(0.026)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	388	2.134	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

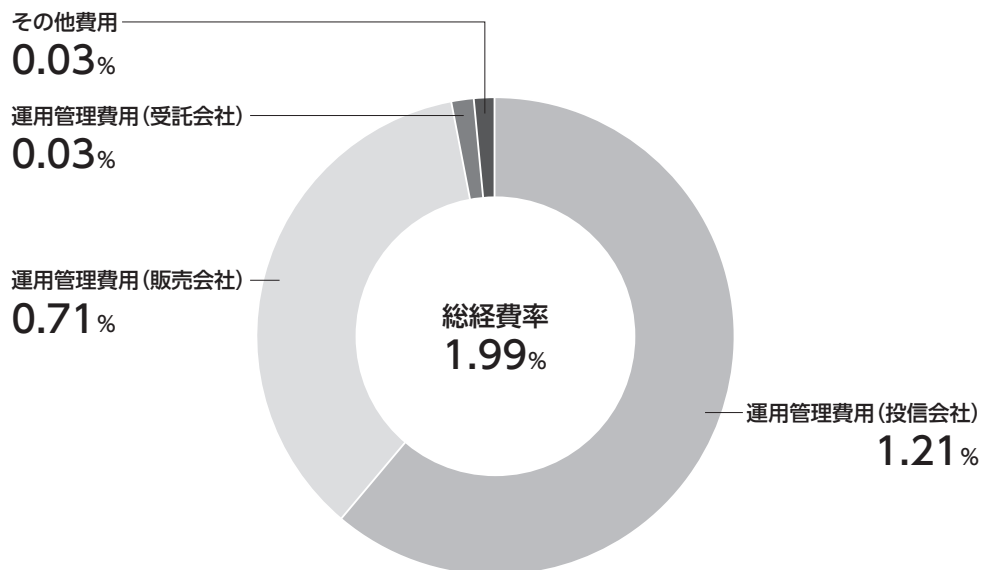
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

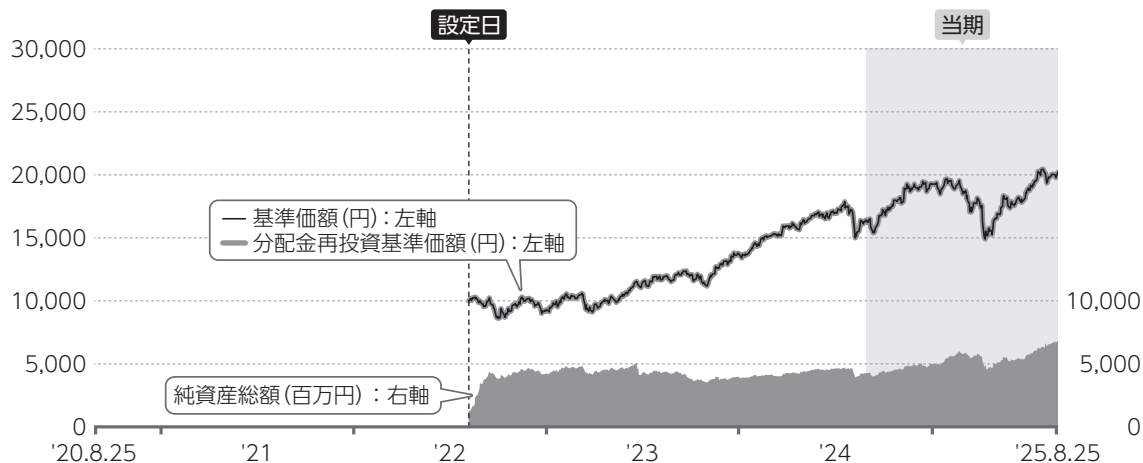
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.99%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について(2020年8月25日から2025年8月25日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2022年8月5日)以降の情報を記載しています。

## 最近5年間の推移



		2022.8.5 設定日	2023.8.24 決算日	2024.8.26 決算日	2025.8.25 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,578	16,286	20,226
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	15.8	40.7	24.2
純資産総額	(百万円)	1,262	4,222	4,254	6,844

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**投資環境について(2024年8月27日から2025年8月25日まで)**

上場プライベート・エクイティ市場は上昇しました。為替市場では、小幅な米ドル高・円安となりました。

**上場プライベート・エクイティ市場**

上場プライベート・エクイティ市場は上昇しました。

FRB(米連邦準備制度理事会)が9月に金融政策スタンスを転換し、年末までに計1%の利下げを実施したことが上場プライベート・エクイティ市場の好材料となりました。しかしその後、トランプ大統領がすべての主要貿易相手国を対象とした関税導入を発表すると、市場センチメントが急速に悪化しました。そのため、上場株式市場とともに上場プライベート・エクイティ市場も、4月初旬にかけて急激に下落しました。

期末にかけては米国の関税政策の不透明感が後退したことに加え、予想を上回る堅調

な経済指標や企業収益を背景に上場プライベート・エクイティ市場は大幅に上昇しました。

**為替市場**

米ドル/円は小幅に米ドル高・円安となりました。

日銀の利上げなどにより米ドル安・円高となる局面もありました。ただし、米国では総じて堅調な経済指標が続く中、FRBの引き締めめつともいわれる現行政策の継続観測が強まる一方、緩和姿勢を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが意識されたことで、期を通じて見ると、小幅に米ドル高・円安となりました。

## ポートフォリオについて (2024年8月27日から2025年8月25日まで)

## 当ファンド

期を通じて、「上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド」を高位に組み入れました。

## 上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド

運用ポートフォリオの投資形態別では、最終投資先企業の好調な業績動向等により、「上場運用会社」と「上場投資会社」の株価が上昇し、パフォーマンスに貢献しました。

個別銘柄では、「上場投資会社」のProsusや「上場運用会社」のCarlyle Groupが大幅に上昇したことがプラス寄与となりました。年初にProsusのリスクリターン特性が非常に

魅力的と判断したため、ポジションを大幅に積み増しました。同社の最大の投資先企業であるTencentやeコマースポートフォリオ企業の好調なパフォーマンスが、同社のNAV（純資産価値）を押し上げました。また、グローバルプライベート市場資産運用会社のCarlyle Groupは、大規模なプライベート・エクイティ事業が資金調達の鈍化の影響を受けたため、長期間にわたって比較的低いバリュエーション（投資価値評価）で取引されていましたが、同社は2025年に同業他社とのバリュエーション格差を縮小し、ポートフォリオのプラスに寄与しました。

期中の売買行動としては、プライベート・インフラ資産を専門とするフランスの運用会社Antinインフラストラクチャ・パートナーを組み入れました。

## ベンチマークとの差異について(2024年8月27日から2025年8月25日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について(2024年8月27日から2025年8月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第3期
当期分配金 (対基準価額比率)	0 (0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	10,226

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、主要投資対象である「上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド」を高位に保ちます。

### 上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド

米国株式市場は、トランプ大統領の関税政策に対する警戒感は徐々に緩和していますが、関税導入によるマクロ経済への影響や金

融政策の動向は注意が必要です。税率の緩和に伴う楽観的な見方は既に織り込みが進んでおり、株式市場は当面、上値の重い展開となりそうです。しかしながら、年末に向かって、利下げ期待に加えて、減税など財政政策への期待により、徐々にレンジを切り上げる展開を予想します。

当ファンドは引き続き、バイアウト(※)の投資スタイルを中心とする上場プライベート・エクイティ銘柄を選好します。最終投資先企業の経営改善に加え、合併買収や新規株式公開を通じた売却等により、NAVの拡大

が見込まれます。またプライベート資産に特化した上場運用会社にも注目しており、この分野は魅力的な成長が見込まれます。投資家に幅広い投資ソリューションを提供できる、多様な商品ラインナップを備えた運用会社を選好しています。

当ファンドは、ファンダメンタルズ(基礎的条件)分析に基づく慎重な銘柄選択を通じてリターンを創出するだけでなく、上場プライベート・エクイティ市場の変動性や市場参

加者に十分にフォローされていない特性を活用しています。相対的な取引機会に着目するアクティブ運用により、市場の非効率性を利用してポートフォリオのリターン向上を目指します。

※バイアウト：投資先企業の全株式または過半数の株式を取得することにより、経営に深く関与し、企業価値の向上を図る投資スタイル。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)
- デリバティブ取引の利用目的の明確化と信託期間を無期限とすることに伴う約款変更を行いました。(適用日：2025年5月23日)

### 交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

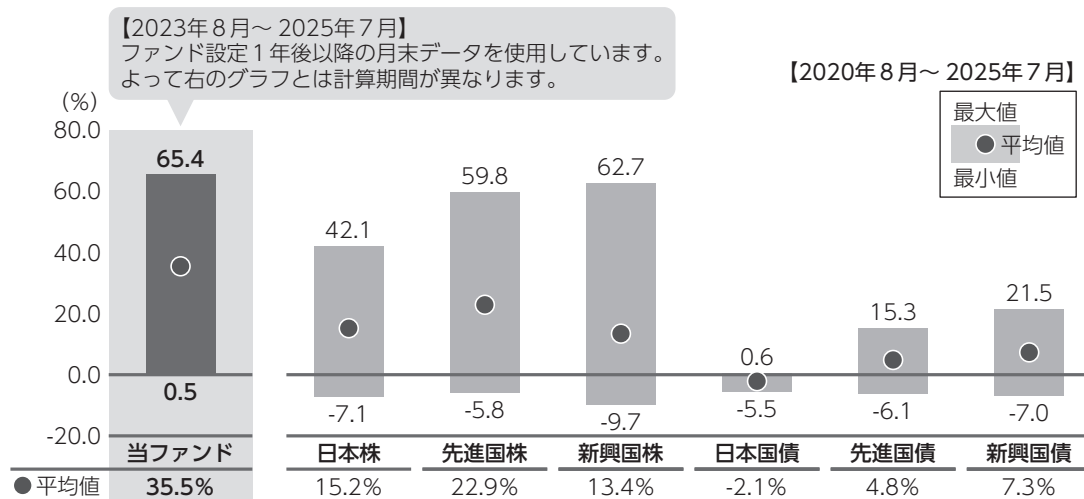
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限(設定日：2022年8月5日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、未上場企業の株式(プライベート・エクイティ)等に投資を行う運用会社の上場株式等に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド</b> 世界の取引所に上場している株式等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■世界の未上場企業の株式等へ投資を行う、上場投資会社や上場運用会社の株式および上場投資信託証券等へ投資します。</li> <li>■実質的な運用は、プライベート・エクイティ投資(PE投資)に精通したLGTキャピタル・パートナーズ・リミテッドが行います。</li> <li>■マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部を、LGTキャピタル・パートナーズ・リミテッドに委託します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <p><b>上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年8月24日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデュシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

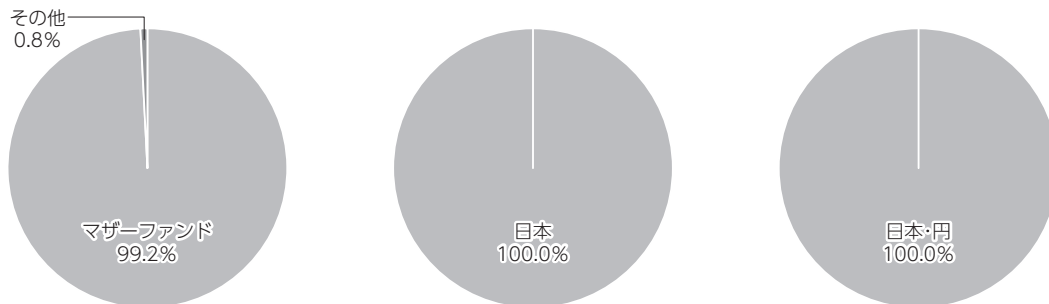
### 当ファンドの組入資産の内容 (2025年8月25日)

#### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド	99.2%
コールローン等、その他	0.8%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第3期末 2025年8月25日
純資産総額	(円)	6,844,502,454
受益権総口数	(口)	3,383,971,291
1万口当たり基準価額	(円)	20,226

※当期における、追加設定元本額は1,645,436,956円、解約元本額は874,117,374円です。

組入上位ファンドの概要

上場プライベート・エクイティ戦略マザーファンド(2024年8月27日から2025年8月25日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式) (投資信託証券)	29	(23) (6)
その他費用	(保管費用) (その他)	5	(5) (0)
合計		34	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

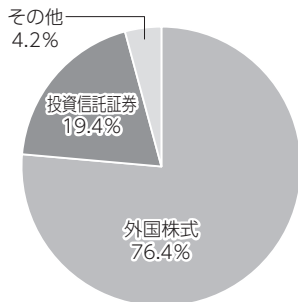
(基準日：2025年8月25日)

銘柄名	業種	組入比率
1 ICG PLC	金融サービス	7.4%
2 ONEX CORPORATION	金融サービス	6.8%
3 PANTHEON INTERNATIONAL PLC	金融サービス	6.1%
4 HARBOURVEST GLOBAL PRIVA	金融サービス	6.0%
5 KKR & CO INC	金融サービス	6.0%
6 WENDEL	金融サービス	5.9%
7 EURAZEO SE	金融サービス	4.8%
8 HGCAPITAL TRUST PLC	金融サービス	4.6%
9 APOLLO GLOBAL MANAGEMENT INC	金融サービス	4.5%
10 BROOKFIELD CORP	金融サービス	4.4%
全銘柄数	27銘柄	

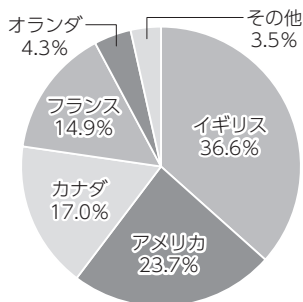
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

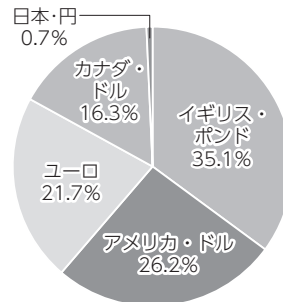
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年8月25日現在です。